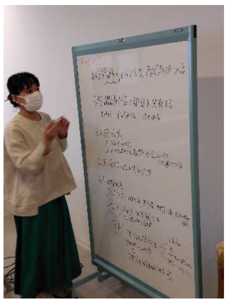
春のまちづくり　ＷＯＲＫ　ＳＨＯＰ　＆ランチ交流会

4/8（土）10 時～13 時まで錦二丁目スペース七番の会場にて、春のまちづくりワークショップとランチ交流会を行いました。参加者は 9 名でした。会員外では、大曽根まちづくりに関わる名城大学生の方１名と古民家再生スペース「つながりの杜」（北名古屋）を運営されている方１名が参加くださいました。講座では、延藤安弘先生の市民参加や建築・まち育てのメソッド・まちの縁側等について、名畑恵さんにお話しいただきました。神戸市真野での地区計画というものの模範となった取り組みや計画的小集団開発、豊かなミニ開発、ﾕｰｺｰﾄ、もやい住宅（M ポート）等を「絵本の紹介してたねん」と言いながら進めていかれたそうです。WS でおばあちゃんに女子高生の役をやってもらって他の人の気持ちになってもらって公共施設のありかたを学んでもらったりしながら、ただ一歩々々、人々の心をつなげていかれたとのことです。その他にも長野「まちの縁側」の取り組みや、台湾や錦二丁目でのまちづくりのお話しを聞きました。そして WS でファシリテーターをつとめてもらい、参加者で 2 班に分かれて「まち育てに大事なポイント」「こんな居場所がいいな」について意見交換して WS を行いました。でた意見を否定せずひらき、仕分けて、まとめる。そして 1 班・居ごこちの良い場づくり、2 班・空が広いカオスな拠点、にまとまりました。名畑さんのまとめは「わくわく感」。質問もたくさん出て、丁寧に回答いただきました。おいしい交流会は、お向かい２店のオードブルと共に、親睦を深めました。（黒野）

ワークショップのまとめ

「わ」・私から「問い」を立てるコトではじまりをつくる
「く」・苦労、課題や宝の発見を共有する（ひらく・仕分ける・まとめる）
「わ」・私発公共（ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰとして１人１人のつぶやきを長期や公の中に位置づける）
「く」・工夫、オリジナルを生み出す
「感」・肝心なのは

ヒト・・・思いやり派、実務派、理念派、のりのり派
モノ・・・空間、四季を感じる、いつでもよれる空間
コト・・・おもいおもいにすごせる（昼寝・本・ｺｰﾋｰ･ﾋﾞｰﾙ･ﾎﾞｰﾙあそび）
つかれをいやす→カオスから何かが生まれる